

## 24期生(旧薬品合成化学教室出身者)便り

1983年、薬品合成化学教室（現：合成制御化学分野）に入室した佐藤誠司氏、佐藤正人氏、瀬尾賢次氏、西沢伸一氏、そして報告者である私（鈴木雅博）の男5人衆は、東日本大震災以降、2011年秋（宮城県・作並温泉）と2014年秋（静岡県・伊東温泉）の2回、3年間隔でミニ同窓会を開催してきた。前回より3年が経過した今年、三浦半島一周の2泊3日（7/28～30）の旅を企画・実行したので報告する。

当局対応が余儀なくされた佐藤正人氏が急遽不参加となり、計4名での挙行となったが、7/28（金）、四国から駆け付けた佐藤氏と鈴木氏の2名による横須賀軍港めぐりから今回の旅がスタート。夕方に仕事と買い出しのため遅れてやってきた瀬尾氏と西沢氏が合流し、1日目の宿である「ホテル京急油壺 観潮荘」へと向かった。

露天風呂で汗を流し、夕食であわびの踊り焼きを堪能した後、部屋での二次会へと突入。翌日のスケジュールを気にしながらも、持ち寄った希少な日本酒と肴で時間を忘れて語り合った。



(2017年7月28日 観潮荘での夕食)



(2017年7月29日 部屋ベランダより小網代湾を望む)

2日目は、ホテル近くの京急油壺マリンパークで、前日に同宿していた幼稚園児120名らと共にペンギンの餌付けやイルカとアザラシのショーを楽しんだ後、三浦半島一周のドライブに出発。途中、観音崎に立ち寄り、観音崎灯台からの素晴らしい景色を眺めると共に、麓の海岸では、童心に帰って磯遊びに興じることができた。その後、東京湾を左手に見ながら、あまりの暑さに途中の寄り道をキャンセルして、ひたすら2日目の宿である「城ヶ島京急ホテル」を目指した。



(2017年7月29日 観音崎灯台より房総半島を望む)



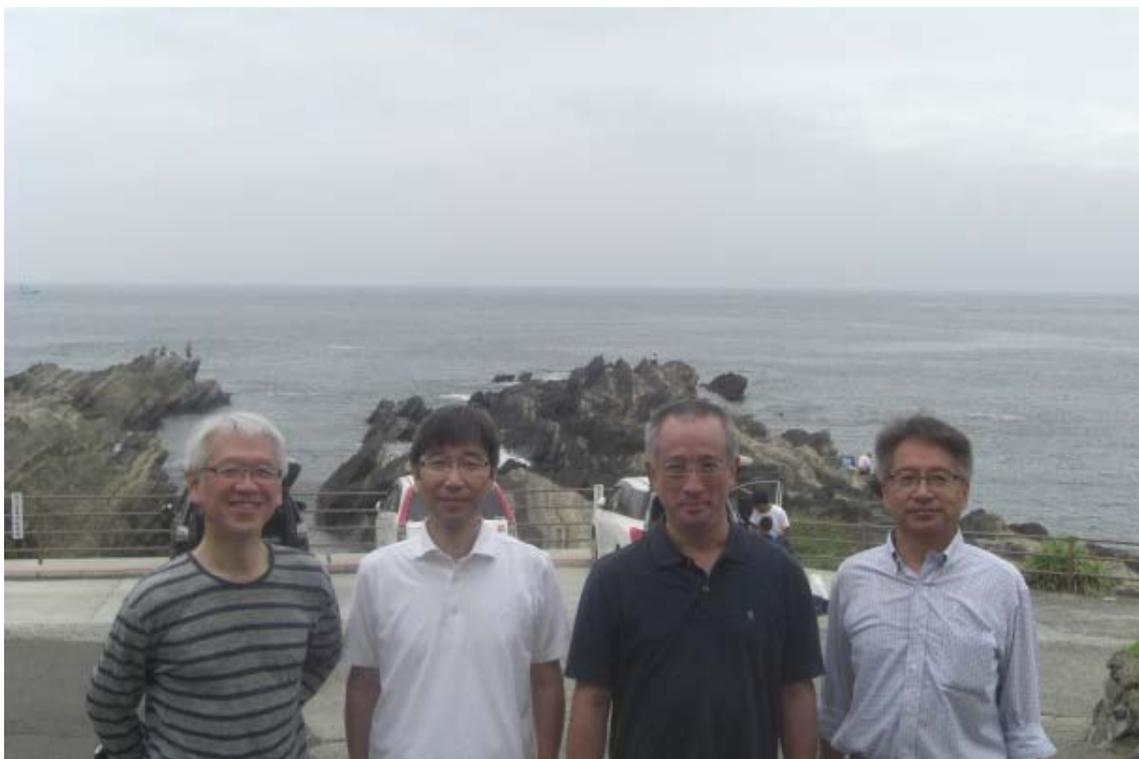
(2017年7月29日 観音崎灯台近くでの磯遊び)

1日目と同様、ホテルの露天風呂で汗を流し、まだ明るい夕方4時頃より飲み始め、マグロづくしの夕食をはさみ、そのまま部屋での二次会に突入。再び日本酒を酌み交わし、時間の許す限り楽しく語り合った。都合、3升以上の空瓶の処理に後々困ることになる。

3日目は、ホテル周辺の散策（写真下）から始まり、チェックアウト後は対岸の三崎港にある物産センターで家族へのお土産を手配した後、西沢氏がテレビで見たという魚屋兼定食屋で、太刀魚一匹を時価で買い、その場で刺身と塩焼き、さらにウマヅラハギの煮付け、キスの刺身などを囲んで昼食とした。

ここで所用により西沢氏は京急三崎口駅にて離脱。残った3名は、今度は相模湾を左手に見ながら、ひたすら最終目的地である京急逗子駅を目指した。当日はあいにくの曇り空で、楽しみにしていた富士山を見ることは叶わなかったが、葉山辺りのハイセンスな雰囲気、海辺の街並みを楽しみながら最終日のドライブを楽しみ、羽田空港にて惜しみながらの解散となった。

大学を卒業して34年もの月日が経ち、皆各々の人生を歩み、皆それぞれの容姿の変化もあるが、前回、前々回と同様、仙台という素晴らしい街で、一緒に青春時代を過ごした仲間であることを改めて思い出させてくれた3日間であった。次回は、東京オリンピックが開催される2020年頃、今回不参加であった佐藤正人氏の参加も得て、全員参加で4回目のミニ同窓会の旅を企画・実行できたらと今から楽しみにしている。



（2017年7月30日 城ヶ島京急ホテルの前で、左より、瀬尾賢次、佐藤誠司、西沢伸一、鈴木雅博 ※敬称略）

（文責：鈴木雅博）